

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新春とは申しながらまだ厳しい寒さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。環境省の調査に

よると地球温暖化の影響で石垣島、西表島35地点で珊瑚礁が大規模な白化現象が起きているとの事。地球温暖化の為に私達ができることは室内の温度設定を少し変えるだけで緩和に繋がるようです。子供達の未来の為に大切な地球を守らねばと思っているこの頃です。

新たな気持ちで今年1年よろしくお願い致します。

サンライズの物語

「母の介護を辛いと思ったことはない」。

天寿を全うしたご利用者と、母を愛する娘との絆の物語。

その方は先日100歳のお祝いを区役所から頂いたと喜んで話されていた方でした。

95歳位までは下駄を履いて闊歩され、お気に入りのデパートへ出かけては美味しい物を食べるのが大好きだったと。

自宅で転倒して右腕を骨折したことが介護を必要とするきっかけだったらしいのです。

要介護状態になっても娘さんとよく車椅子で出かけてコーヒーやジェラートを食べるのを楽しみにしておられました。お母様の介護をすると決めた時から入院させずに自宅で看取るというのが娘さんの口癖でした。

そんな折風邪をこじらせてベット上の生活となってしまう、体力は少しずつ低下していきました。

最後は娘さんの判断で点滴も痛みが伴う為中止されました。

夜娘さんが寝る時はご本人様との会話はあったらしいのですが、娘さんが朝起きてご本人の足の裏をコチョコチョとくすぐった（毎日の日課だったらしいです）ところ何の反応もなく、永遠の眠りについていたとのことでした。

それはそれは安らかな寝顔でした。

お別れに訪問した時に娘さんから「何年も母の介護をしてきましたが、辛いと思ったことはなく、とても幸せな時間だったのよ」「一片の悔いもない」との言葉を聞いたときに介護することは並大抵な覚悟ではできない中・・・介護者の方の感じかたでこんなにも違うものかと思い自宅で看取る事の素晴らしさを実感いたしました。

ご家族様の思いに介護職である私達がすこしでも寄り添えればと考えております。

「介護現場で使える会話の引き出し便利帖 (現場で使える便利帖)」

翔泳社 著者：布施 克彦

「高齢者」とひとくくりにしても、例えば65歳と95歳では30年の隔たりがあります。本書では、世代別にどんなものが流行っていたか、どんな話ができたら楽しいかなど、ご利用者のバックグラウンドを踏まえ、楽しくお話ができるためのヒントが書かれています。知識だけではなく、会話を広げるためのテクニックも多様に紹介された一冊です。



NEWS 今月のニュース

リハビリ+フラメンコ 「リハメンコ」評判上々

札幌・厚別区介護予防センター

札幌市厚別区内に4カ所ある区介護予防センターの相談員らが、高齢者の体力づくりに役立ててもらおう「あつべつリハメンコ体操」を考案し、普及に力を入れている。

「リハメンコ」は、機能回復や介護予防を含む「リハビリ」と、舞踊の「フラメンコ」を合わせた造語で、歌いながら手足を動かすなど複数の動作を組み合わせている。難易度は少し高いが、お年寄りの評判は上々だ。(中略)

体操に合わせて流れていたのは、市民有志が2009年に作成した

区のイメージソング「またここで会いましょう」。お年寄りたちは歌詞を口ずさみながら、体側をゆっくり伸ばしたり、体をひねったりと運動を繰り返した。

1回5分ほどの体操を終えると、体がじんわりと温まってくる。この日が3回目の練習だという中尾彰三さん(84)は「しっかりやると汗ばむぐらい。少し難しいぐらいが、やる気が出ていいね」。

リハメンコ体操は、4介護予防センター(厚別中央・青葉、厚別西東(さいとう)、大谷地、もみじ台)の相談員6人が昨年秋から振り付けを考え、今年6月に完成させた。中山さんは「ポップス調の曲に合わせ、気軽に運動に親し

んでもらえる体操。高齢者だけでなく、幅広い世代の体力づくりに役立ててもらえれば」と期待する。

振り付けや全体の運動量などは、新札幌パウロ病院(厚別東2の6)のリハビリテーション科長で理学療法士の須川兼次さん(44)がアドバイス。同じリズムでも手拍子や足踏みの回数を変えており、「脳トレ効果も期待できます」と参加を呼びかけている。



<北海道新聞 2016年12月20日(火)>



今月の名言

何をするにしても自分のすることを愛せ。

アルフレード (映画「ニュー・シネマ・パラダイス」)

不朽の名作、「ニュー・シネマ・パラダイス」から抜き出した一言。故郷を旅立つ年の離れた友人へ、時にゆらぎ、時に惑わされることはあれど、心惹かれたものを一途に愛し続けなさい、と伝える場面での言葉です。

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>